

不倫人妻調教物語

杉原京子編(3)



不倫人妻調教物語



杉原京子編(3)



京子と英輔のなれそめ

京子と英輔が交際を始めたのは、今から7年ほど前のことだった。
英輔の教授就任祝いに、講義を受けた卒業生が久しぶりに集まろうということになった。京子は、大学卒業後、一般職で就職していた。
人間の行動について学んだものの、研究者としての道を進む気はなかった。
とはいえ、他にしたいこともなく、給料をもらうために通勤するだけの日々だった。
また、30歳になるまでに結婚しようと交際していた相手と別れたばかりでもあった。
当時の京子の日々は、面白みがなく、空疎な状態だった。

対照的に、久しぶりに会った英輔は、変わらず様々なことに探求心が強く、仕事とプライベートを分けることなく楽しんでいた。
京子はそんな英輔に惹かれた。
学生時代も面白い人とは思っていたが、数年経ち、男性としても魅力を感じるようになっていた。
英輔は離婚歴があり、独身であると、京子は知っていた。
京子は頻繁に英輔に連絡を取るようになった。
交際して一年、英輔は京子にプロポーズした。

京子は仕事をやめ、英輔を支えることに時間を使った。
2人は子作りに数年取り組んだが、英輔は子種が少なく、さらに年々セックスを上手にできなくなり、子供は諦めた。

京子は子供が欲しいとは思ってはいなかった為、特に不満はなかった。
ただ、安定し過ぎた生活に刺激が少なく、性的に欲求不満である、という点以外は……

解説の視点

作・画 窪リオン

不倫行為から
一か月……

京子は、速水と頻繁に
関係を持っていた。

その体は、すっかり
調教プレイに
馴染み……

まだ起きて
らしたの？

……服を全部
脱ぐんだ

いいから

理性では抑えられない
程に、快楽を求める
ようになっていた。

電気、消して
欲しいけど……

エッチするの？

縛られた跡があるな

英輔は、京子を裸にし、その肌をじっくりと見た。

え？

探偵に調べさせたんだ

速水という男と関係を持つているんだろ？

京子にとって、晴天の霹靂ではあるが……

詰め寄る英輔。

うっすらとではあるが、速水との行為の名残があった。

離婚、
ですね……

……座ろう

隠し事がなくなった
ことに安堵感を
覚える京子。

確認だが、脅迫
されて、という
わけではないな？

もう、失うものは
ないと考えていた。

むしろ、私から
お願いしたような
部分もあって……

病気をうつされ
たりとかは？

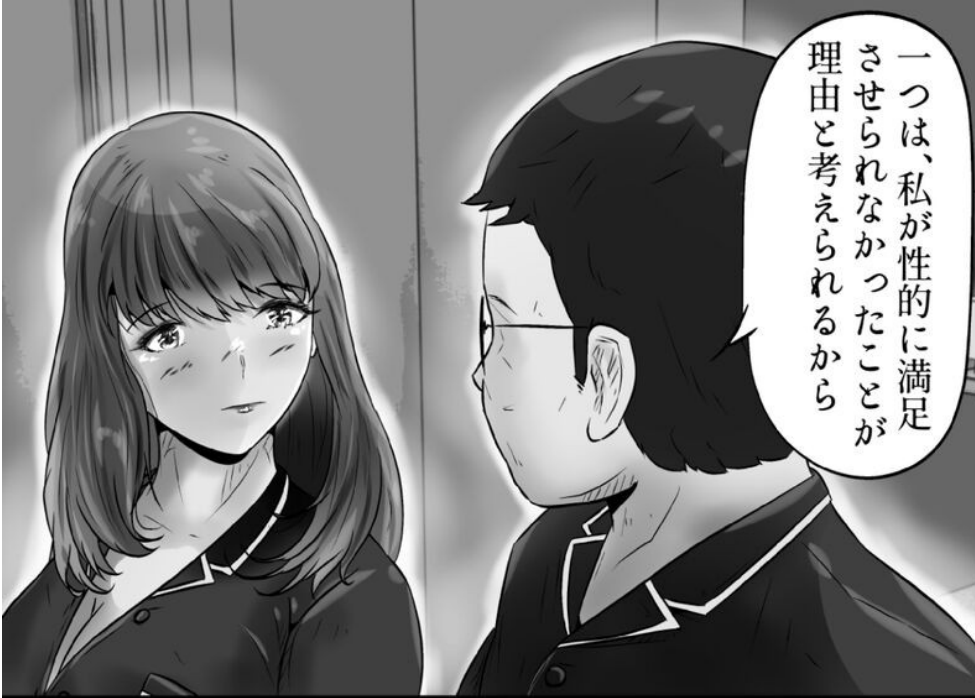
大丈夫です

速水さん、複数の
セフレがいる人で、
注意して検査して
いるそうなので……

それなら
安心した

英輔の反応は
意外なものだった。

え？



一つは、私が性的に満足
させられなかったことが
理由と考えられるから



離婚はしない、
理由は二つだ



京子が他の男に
抱かれている様子を
想像しただけで、
こうなった

苦しみや悲しみ
と共に、大きな
性的興奮が
彼を襲っていた。



もう一つは、
これだ

探偵からの報告後、
英輔は興奮している
自分に気づいた。

出入りしていたのは、
SMプレイ専門の
ホテルということだが……

探偵から、京子と
速水の詳細な動向が
報告されていた。

縛られて、
犯されていたのか？

怒らないから、
教えてくれ

……そうです

英輔は、京子の
隠された本性を
知りたかった。

私、マゾの気が
あるみたいで……

調教プレイとか、
凌辱プレイが
好きだったんです

言ってくれれば
いいのに

最近気づいた
と言うか、
知ったので……

拘束されて
犯されているのを
想像するだけで、
性欲が抑えられ
なくなつて……

自分を受け入れて
くれそうな英輔に、
京子は話を続けた。

自分でも、縛つて
してしまつたり

やってみて
くれないか？

自分で縛つて？



京子のことを、
よく知りたいんだ

英輔の心の中では、
京子の淫らな姿を
見たいという欲求が
ふつつつと湧いていた。

嫌われそうで
怖いんですけど……

あの……

嫌うわけ
ないだろ？

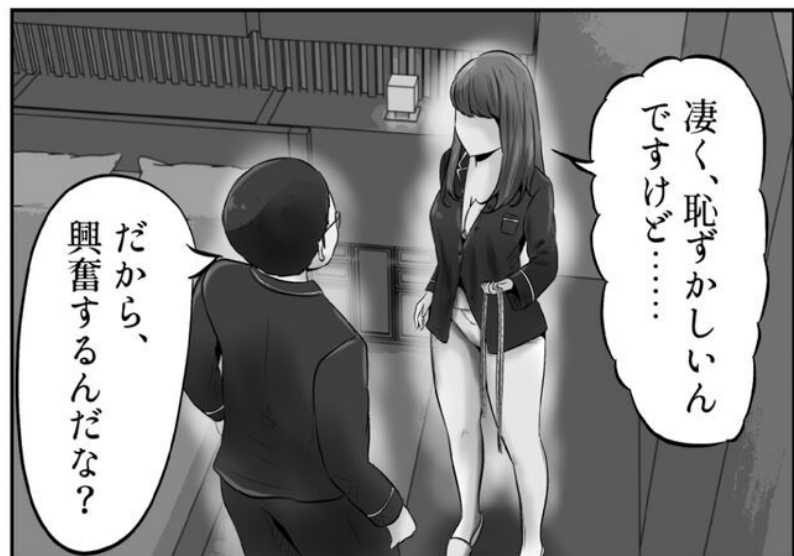
妻が凌辱されて
いるのを想像して、
興奮する男だぞ？

確かに

夫婦で隠し事
なく、分かり
合いたいんだ

……わかりました

英輔が、性的なことに興奮し、
濃厚な欲望が膨らむのは、
久しくなかったことである。



京子は両足を固く縛り、
振動するバイブを
おマンコに挿入した。

ああっ！
あっ！

奇異な状況は、
京子の性的興奮を
増幅させていた。

あなた、
見てる？

見てるよ。
すごく綺麗だ

英輔がそばにいる
ことに、不思議な
安心感を覚えていた。

嬉しい、
感じる！

凄く濡れて
いるな

ああ、やだ、
興奮する！







もっと縛って、
おマンコ舐めて
欲しい！

あ
あ

よし、
やってみよう

英輔は、京子に
せがまれ彼女を
縛った。

ああ、動けない、
あつ！ 感じる！！

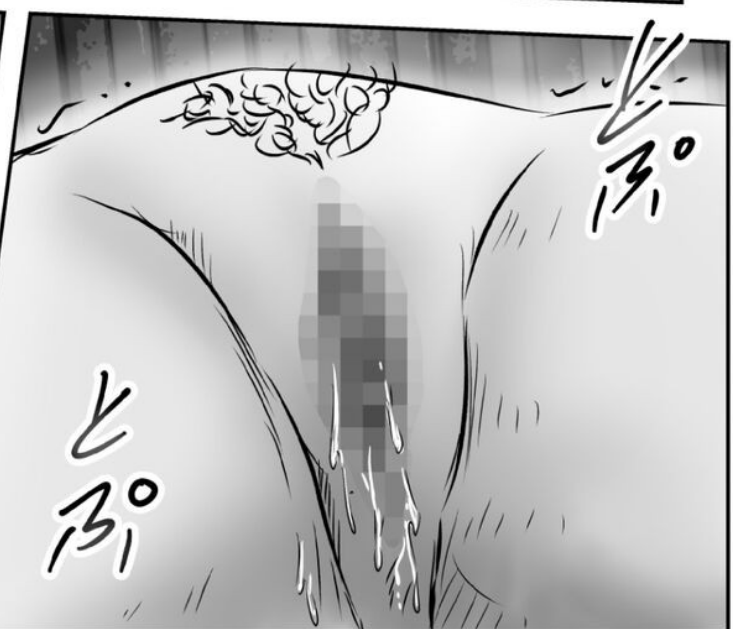
持ち前の想像力が
個性的な縛りを
可能にした。



これが、
肉便器状態か……

あ
あ

淫らな京子の姿に、
英輔は未経験の
感動を覚えていた。

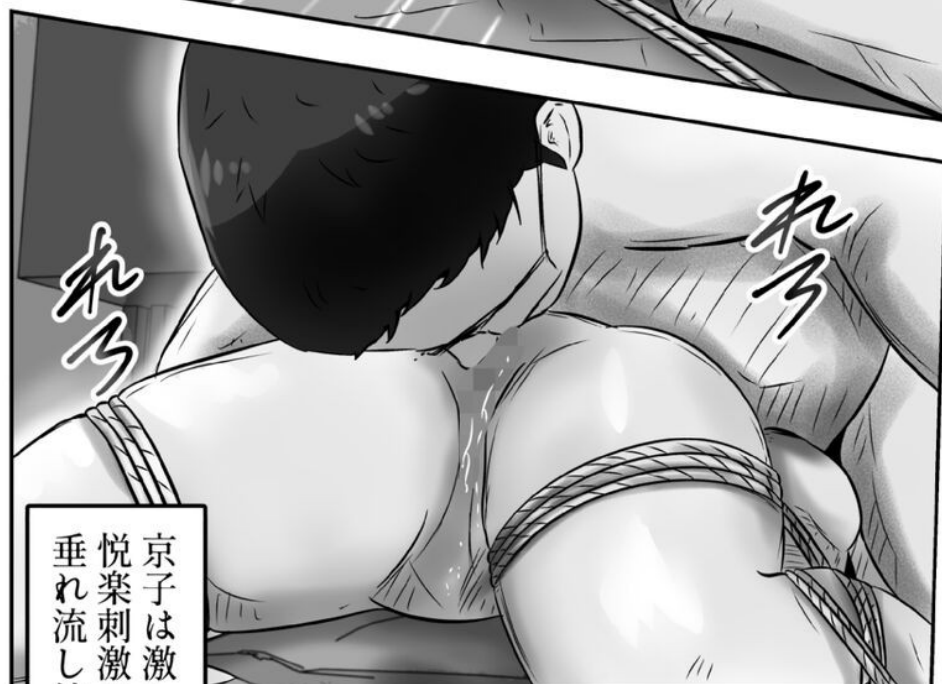


と
り

英輔は、愛液まみれの
おマンコを舐めまわした。

ああ、美味い！
濡れまくるマンコが
美味しいぞ！

勃起したクリトリスを
愛撫し、割れ目に
舌を這わせた。



京子は激しい
悦楽刺激に、愛液を
垂れ流し続けた。





英輔は、執拗に
京子の性器を
愛撫し続けた。

クリトリスを吸い、
舌を膣に突っ込み、
壁の隅々まで
舐め上げた。

ああ、なんて美味しい
マンコなんだ！



京子は意識を
失いそうな程、
激しく昇天した。



京子は、英輔との
営みで、これほどの
快感を味わったことは
なかった。

はあ
はあ

はあ

だ、大丈夫か？

また、英輔のここまで
激しい欲情を感じた
こともなかった。

ピン
ピン

ピン

おマンコに
おチンチン
ください！

ああ、肉穴奉仕
したいです!!

うふ

あ

京子の中で、英輔を
求める気持ち
強烈に膨らんでいた。

つづく

おチンチン、
おチンチン欲しい！

不倫人妻調教物語



杉原京子編(3)



京子と英輔のなれそめ

京子と英輔が交際を始めたのは、今から7年ほど前のことだった。
英輔の教授就任祝いに、講義を受けた卒業生が久しぶりに集まろうということになった。京子は、大学卒業後、一般職で就職していた。
人間の行動について学んだものの、研究者としての道を進む気はなかった。
とはいえ、他にしたいこともなく、給料をもらうために通勤するだけの日々だった。
また、30歳になるまでに結婚しようと交際していた相手と別れたばかりでもあった。
当時の京子の日々は、面白みがなく、空疎な状態だった。

対照的に、久しぶりに会った英輔は、変わらず様々なことに探求心が強く、仕事とプライベートを分けることなく楽しんでいた。
京子はそんな英輔に惹かれた。
学生時代も面白い人とは思っていたが、数年経ち、男性としても魅力を感じるようになっていた。
英輔は離婚歴があり、独身であると、京子は知っていた。
京子は頻繁に英輔に連絡を取るようになった。
交際して一年、英輔は京子にプロポーズした。

京子は仕事をやめ、英輔を支えることに時間を使った。
2人は子作りに数年取り組んだが、英輔は子種が少なく、さらに年々セックスを上手にできなくなり、子供は諦めた。

京子は子供が欲しいとは思ってはいなかった為、特に不満はなかった。
ただ、安定し過ぎた生活に刺激が少なく、性的に欲求不満である、という点以外は……

京子の視点

体がうずいて
仕方ない……

痛みと刺激を
求めてしまう……

もう、戻れないところ
まで来てしまっ
ているのかしら？

嫌だ……、
悪い予感がする……

電気、消して
欲しいけど……

いいから

まだ起きて
らしたの？

……服を全部
脱ぐんだ

エッチするの？

縛られた跡があるな

怖い。
夫を失うのが
怖い……

今になって、
なんてバカなことを
したのだろう、と
後悔する……

え？

探偵に調べ
させたんだ

速水という男と
関係を持って
いるんだろ？

賢いあなたに、
隠し通せるわけ
がなかった……

快楽に溺れた
代償なのね……

ああ、あなた、
ごめんなさい……

離婚、
ですね……

……座ろう

もう、全てが
終って
しまった……

確認だが、脅迫
されて、という
わけではないな？

何もかも話して
消えてしまいた
い……

むしろ、私から
お願いしたような
部分もあって……

病気をうつされ
たりとかは？

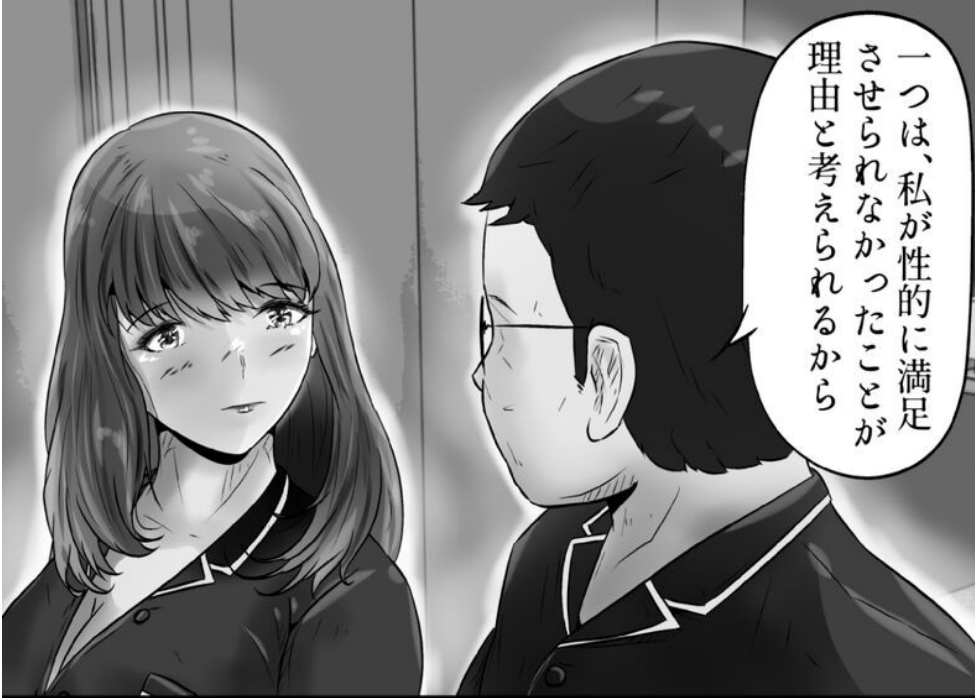
大丈夫です

速水さん、複数の
セフレがいる人で、
注意して検査して
いるそうなので……

それなら
安心した

どうということ？

え？



一つは、私が性的に満足
させられなかったことが
理由と考えられるから



離婚はしない、
理由は二つだ



京子が他の男に
抱かれている様子を
想像しただけで、
こうなった

ああ、なんで？

凄い、付き合った
最初の頃みたい！



もう一つは、
これだ

出入りしていたのは、
SMプレイ専門の
ホテルということだが……

しっかり
調べられて
たのね……

縛られて、
犯されていたのか？

怒らないから、
教えてくれ

……そうです

もう、全てを
話すしかない。

私、マゾの気が
あるみたいで……

調教プレイとか、
凌辱プレイが
好きだったんです

言ってくれれば
いいのに

最近気づいた
と言うか、
知ったので……

拘束されて
犯されているのを
想像するだけで、
性欲が抑えられ
なくなつて……

ああ、私、何を
言っているの
かしら？

でも、話が
できて嬉しい。

自分でも、縛つて
してしまつたり

やってみて
くれないか？

自分で縛つて？



ふふ

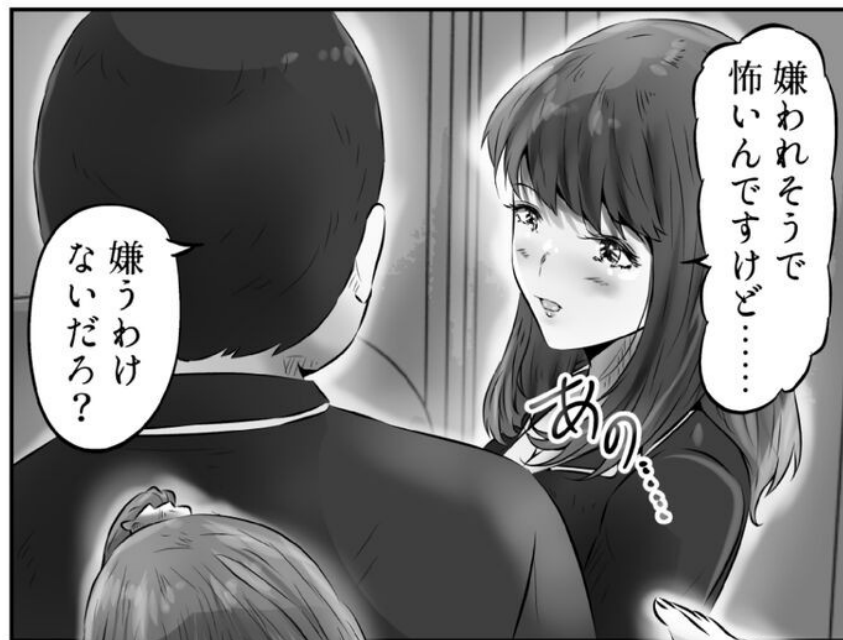
ふふ



ん？



あ。



嫌うわけ
ないだろ？

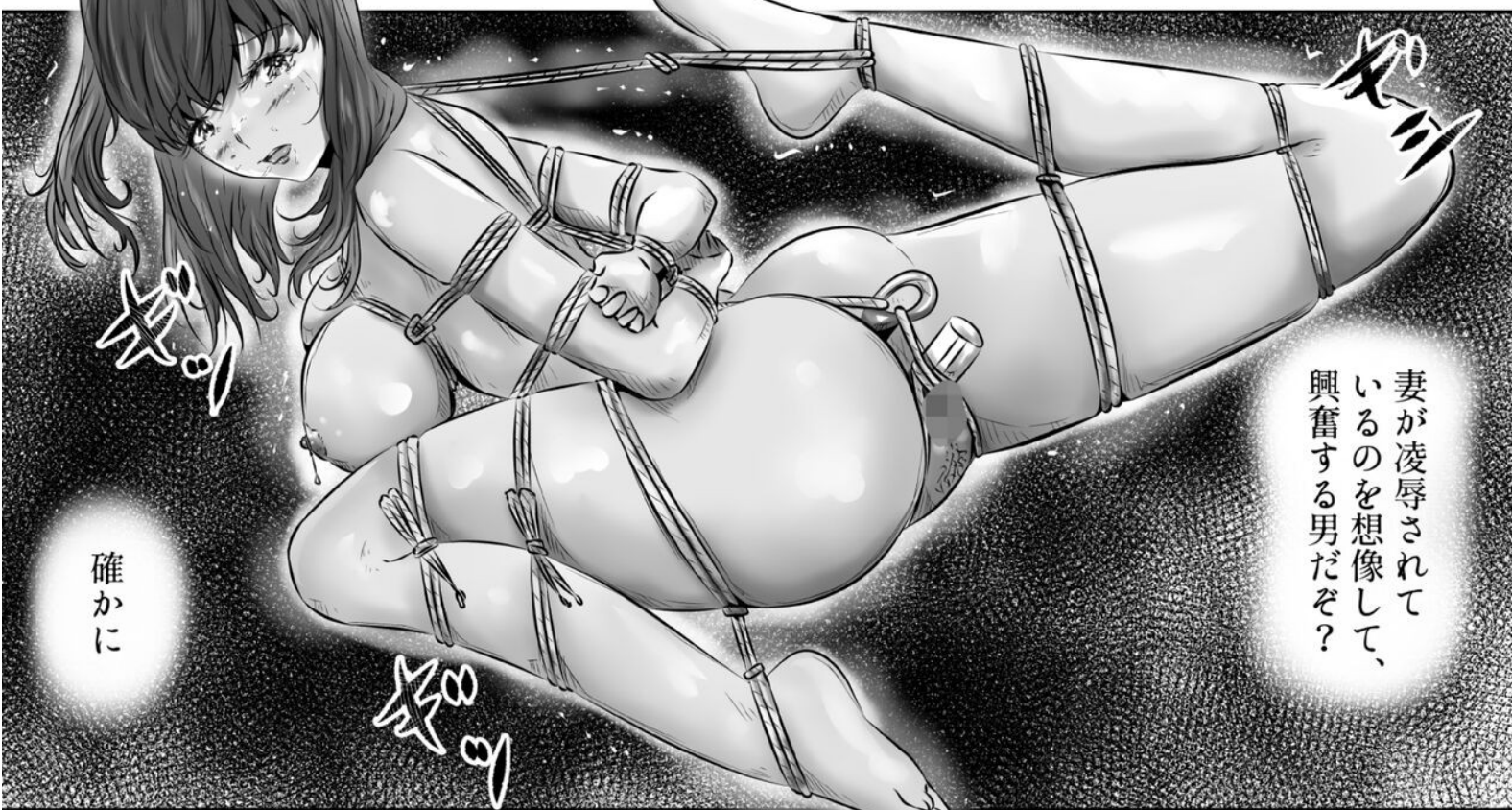
嫌われそうで
怖いんですけど……

あの……



京子のことを、
よく知りたいんだ

まだ私を求めて
くれている。
どんな形でも
求められたい……



妻が凌辱されて
いるのを想像して、
興奮する男だぞ？

確かに



夫婦で隠し事
なく、分かり
合いたいんだ

……わかりました

もしかして、
私自身をさらけ出すことで、
さらに愛してもらえるのかしら？



これで足を縛って、
目隠しして、
パイプをいれてます

なるほど



おかしいことにな
ってしまった……

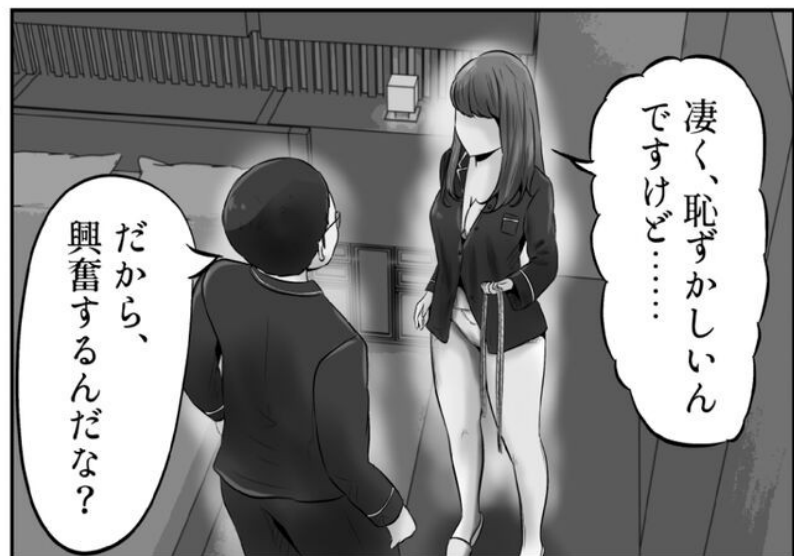
まさか、夫にこんな
趣味を暴露する日が
くるなんて……



変態夫婦じゃ
ないですか……

気が合って良い
かもしれない

緊張する。
でも、少し興奮してる……



凄く、恥ずかしいん
ですけど……

だから、
興奮するんだな？



研究対象に
されてませんか？

そういう面もあるが、
妻のオナニーを見て
興奮したいという欲もある

ああ、私、なんて
ことしてるの!?

ああっ!
あっ!

でも、凄いい!
いつもよりも、
いっぱい感じる!

あなた、
見てる?

見てるよ。
すごく綺麗だ

夫に見て欲しいと
思ってしまう!

嬉しい、
感じる!

凄く濡れて
いるな

ああ、やだ、
興奮する!



どんなことを
想像しているんだ？

ほあ

動けなくされて、
知らない人たちに
勝手に犯されている
のを想像してます

体が熱くて
たまらない。

夫の声に感じて
しまう。

くちゅくちゅ

ぷん
くちゅ

肉便器状態と
いうやつか？

卑猥な姿を
いっぱい見て
欲しい。



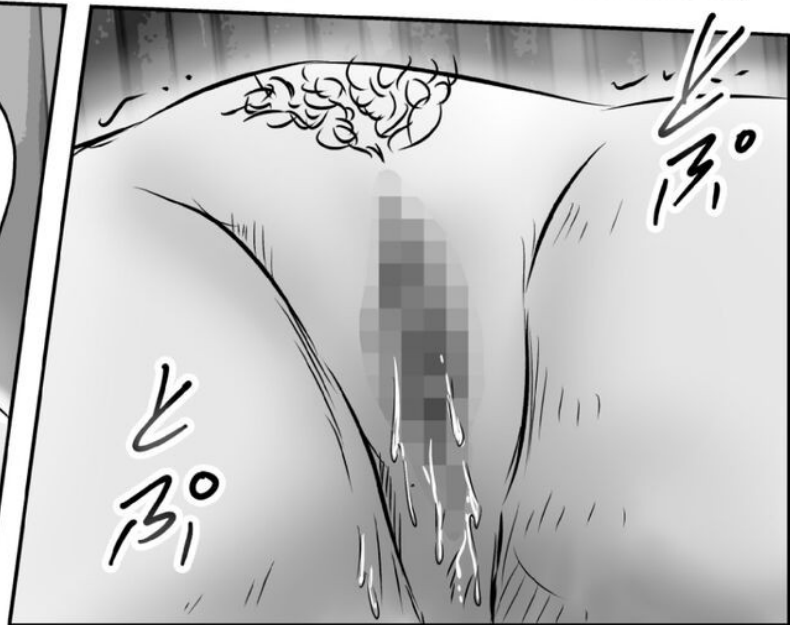
あなたのおチンチン、
食べたい！
食べたいです！



ああっ！ そうです！
罵られると凄く感じる！

ああ、私も
凄く興奮する





ああ、彼の舌が
入ってくる！

ああ、美味い！
濡れまくるマンコが
美味いぞ！

嬉しい！
美味しいって
言ってくれて嬉しい！



れろ

れろ

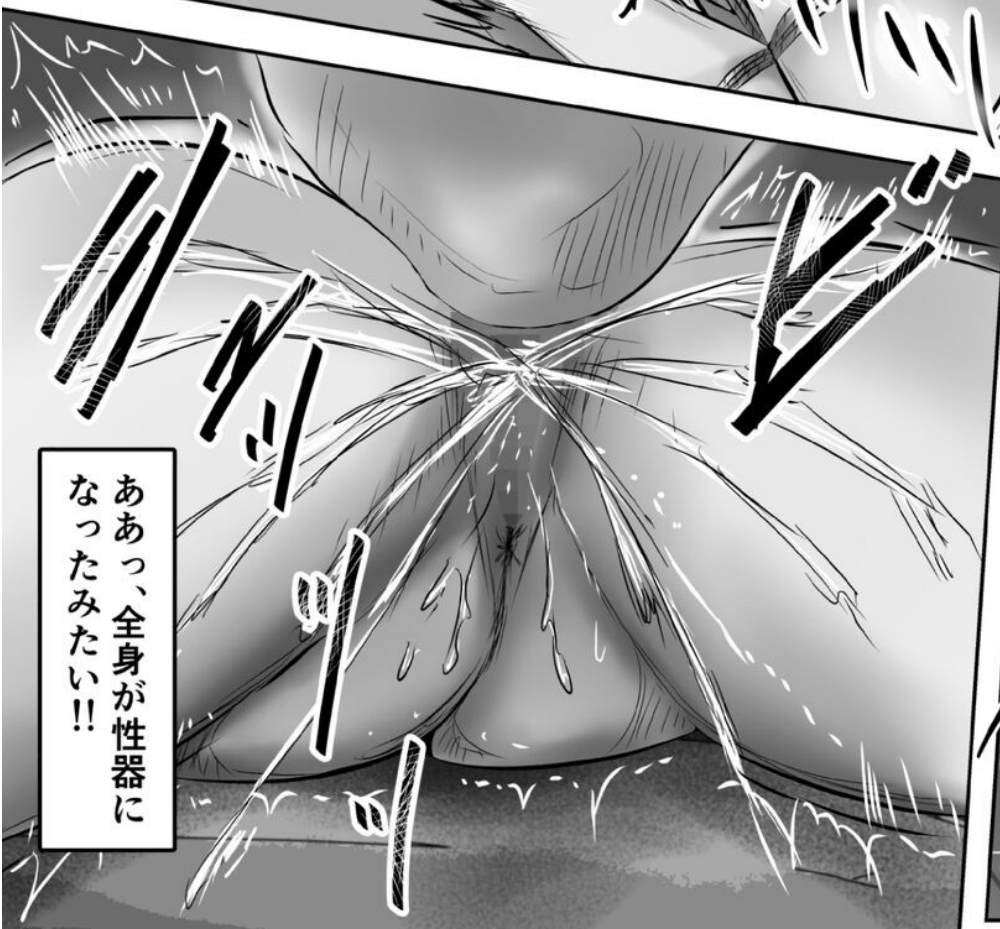
今まで感じた
ことがないくらいに
気持ちいい！

しゃ



しゃ





ああっ、全身が性器に
なったみたい!!

凄かった。
クンニであんなに
感じたことはなかった。

はあ
はあ

はあ

だ、大丈夫か？

これで、おマンコに
あの硬直ペニスを
挿入されたら……

おマンコに
おチンチン
ください！

ああ、肉穴奉仕
したいです！！

あ

もう止められない！
夫のペニスでおマンコを
かき回されたい！！

つづく